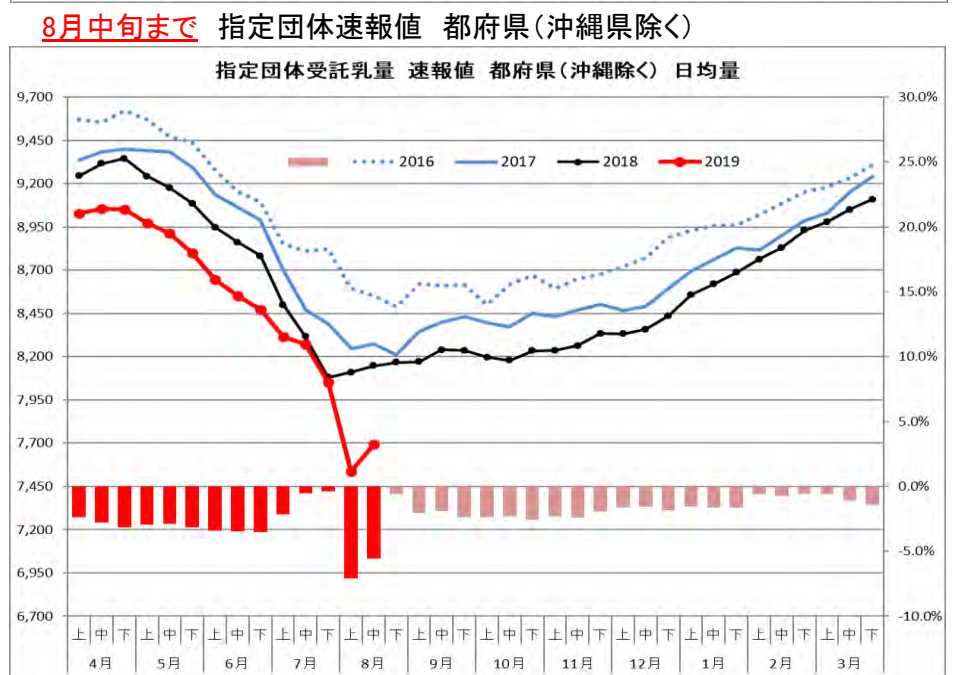
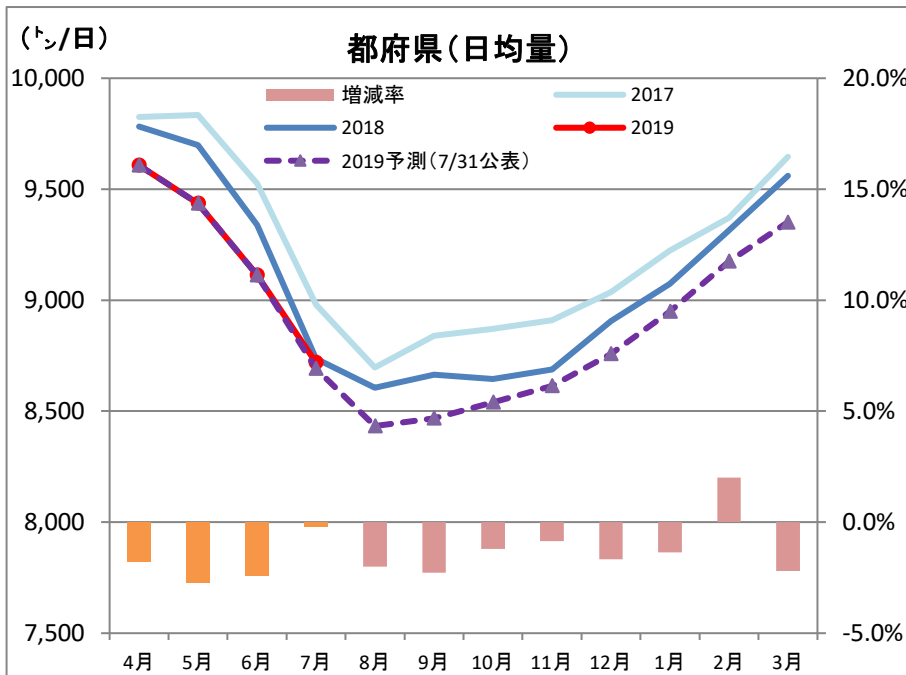
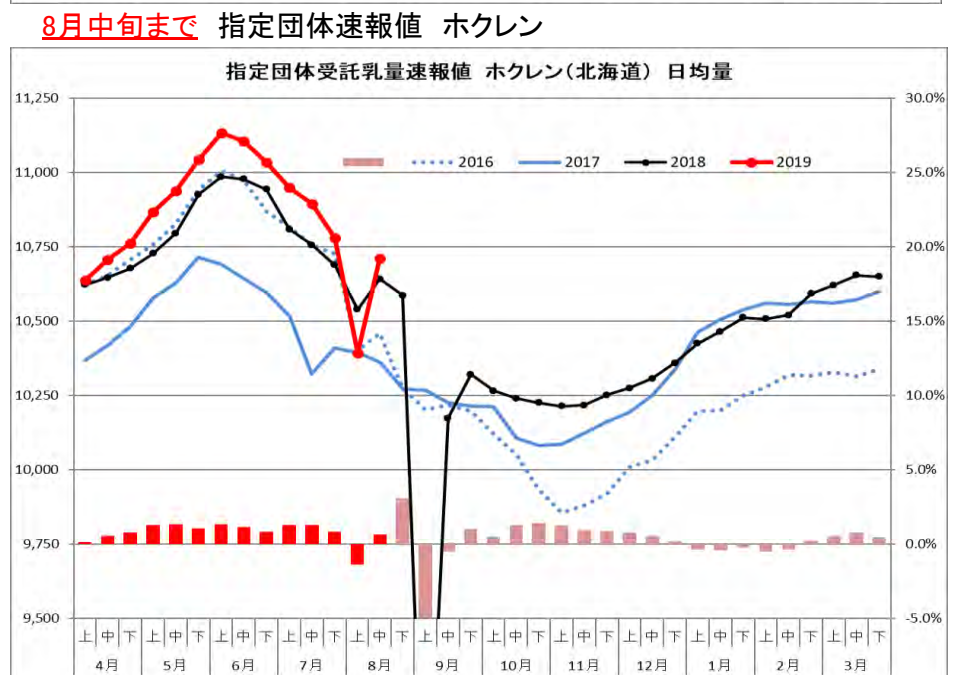
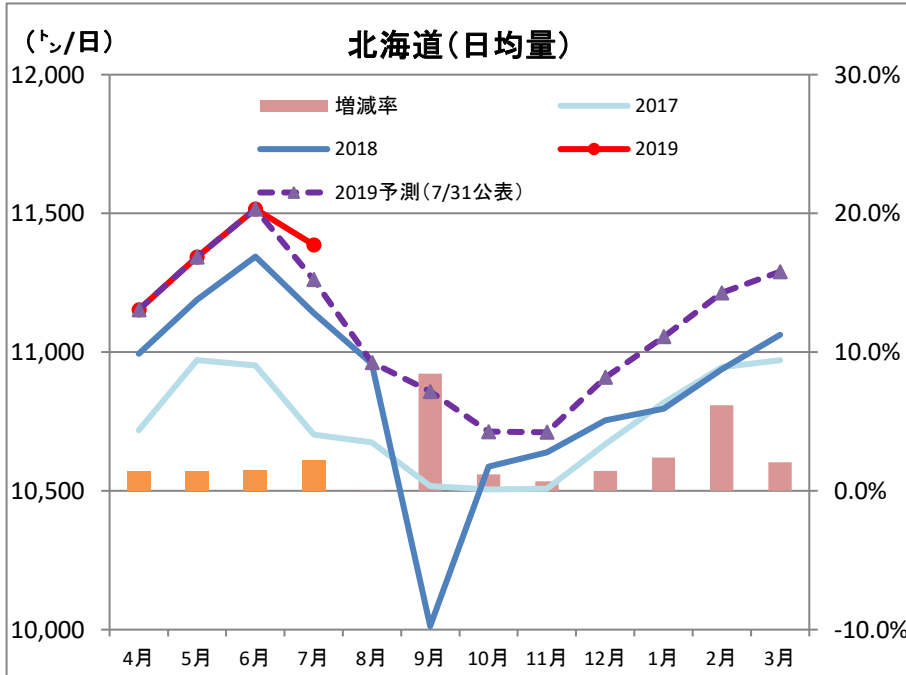
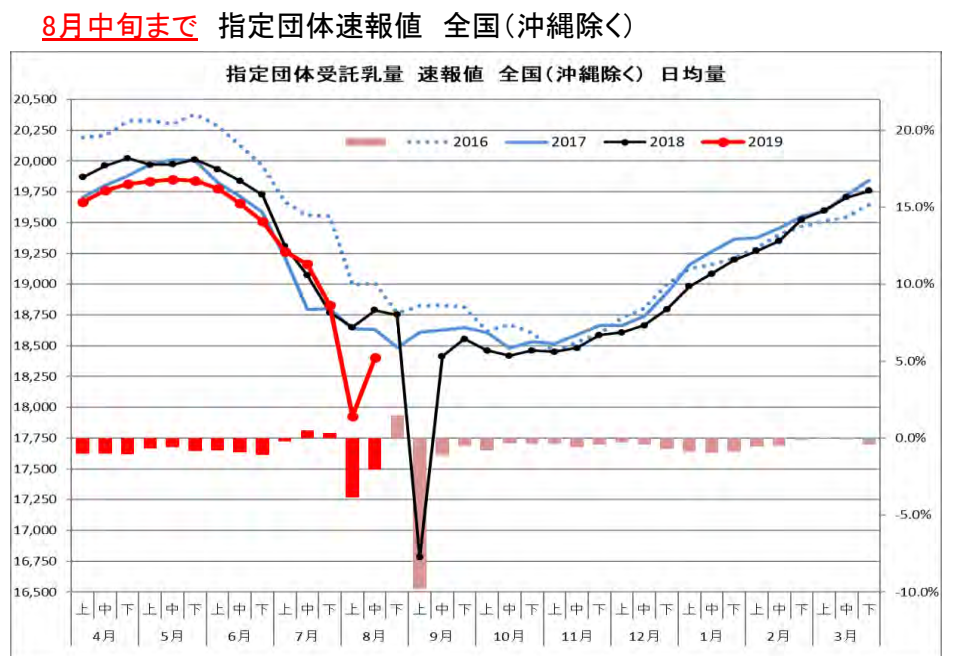
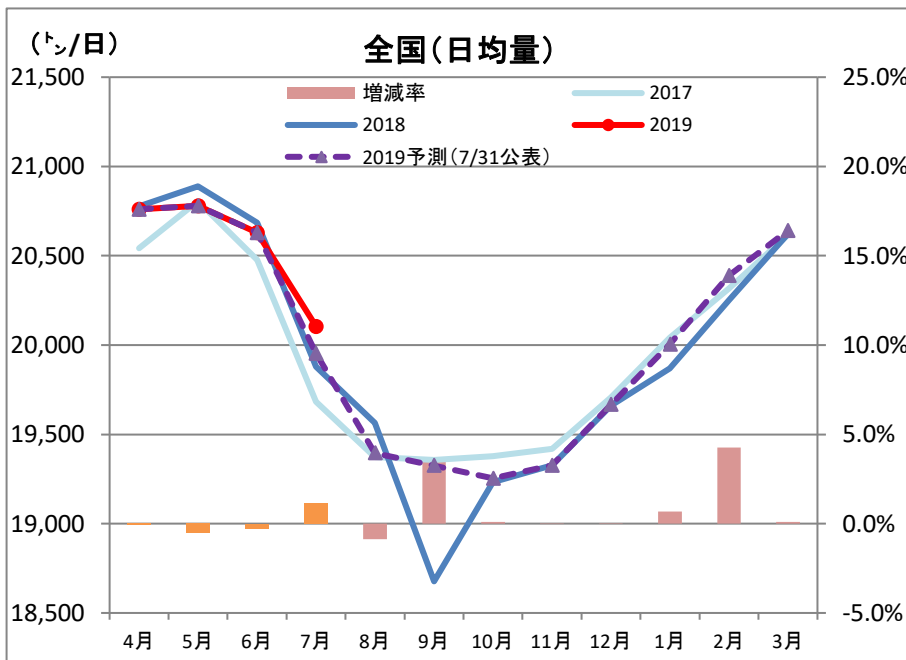


Jミルクが**2019年7月31日に公表**した直近の「需給見通し(※2019年6月迄実績)」の予測値と実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【生乳生産量】

- (1)7月の生乳生産量は、全国623千ト(前年同月比101.1%)、北海道353千ト(同102.2%)、都府県270千ト(同99.8%)。
- (2)7月は冷涼な気候だったことが追い風となり、全国では4ヶ月振りの増産となった。北海道は5ヶ月連続の増産。都府県は記録的な猛暑となった昨年7月の反動はあるものの概ね前年並みとなった。
- (3)8月以降気温が上がり連日の猛暑日・熱帯夜が続いたため、都府県において生産が(東北・北陸・関東・東海・近畿を中心に過去に例がないほど)大きく減少したため、**Jミルク7/31予測値(261千ト、同98.0%)を2~3ポイント程下回る見通しである。**
- (4)暑さが和らいだ8月半ば以降は徐々に回復には向かっているものの、飲用最需要期を迎えるにあたり生産動向には注視が必要である。
※8月の指定団体受託乳量速報値では、北海道は上旬:同98.6%、中旬:同100.7%。一方、都府県は上旬:同92.9%、中旬:同94.4%。
- (5)中央酪農会議が公表した7月の指定団体受託乳量(北海道同101.1%、都府県同99.0%)と統計を前年同月比ベースで比較すると、受託乳量の方が統計より、北海道で▲1.1ポイント、都府県で▲0.8ポイントとなり、北海道の乖離が前月より大きくなった。**期中で指定団体以外の第1号対象事業者等に生乳出荷が切替えられた可能性がある。**



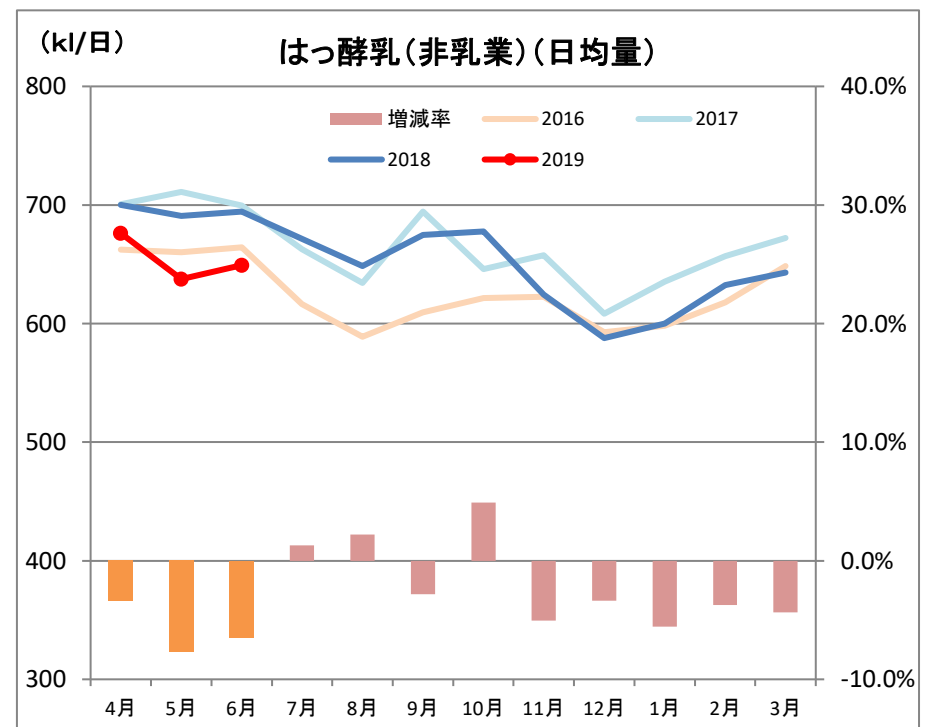
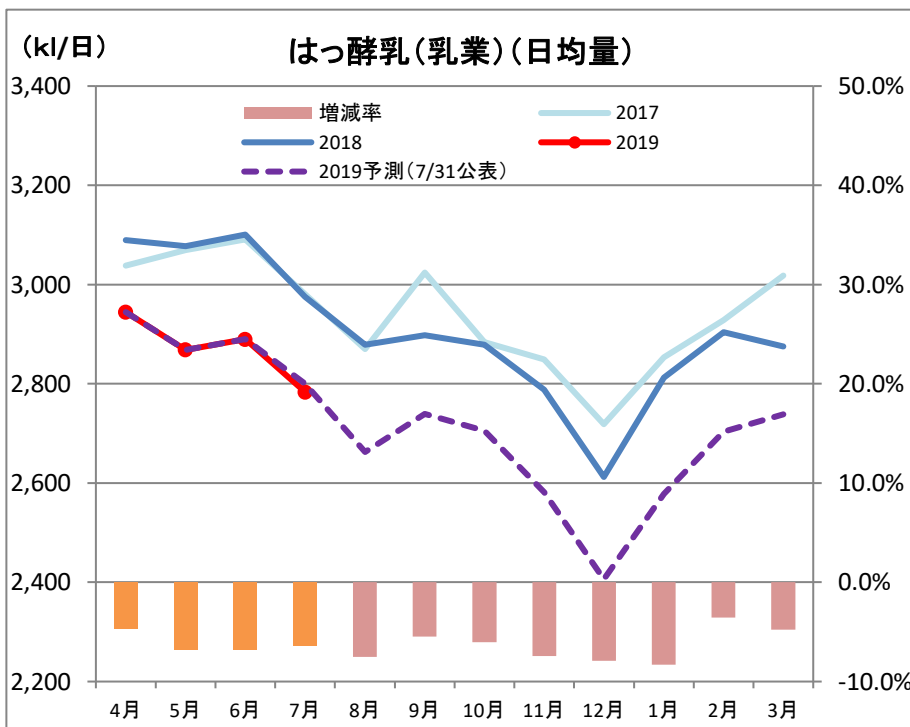
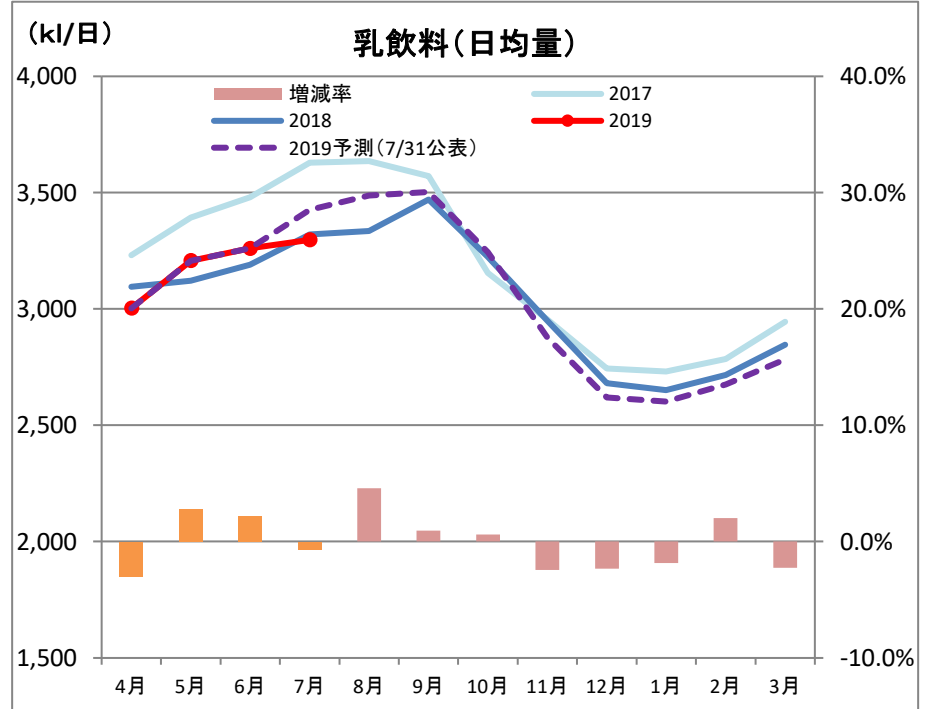
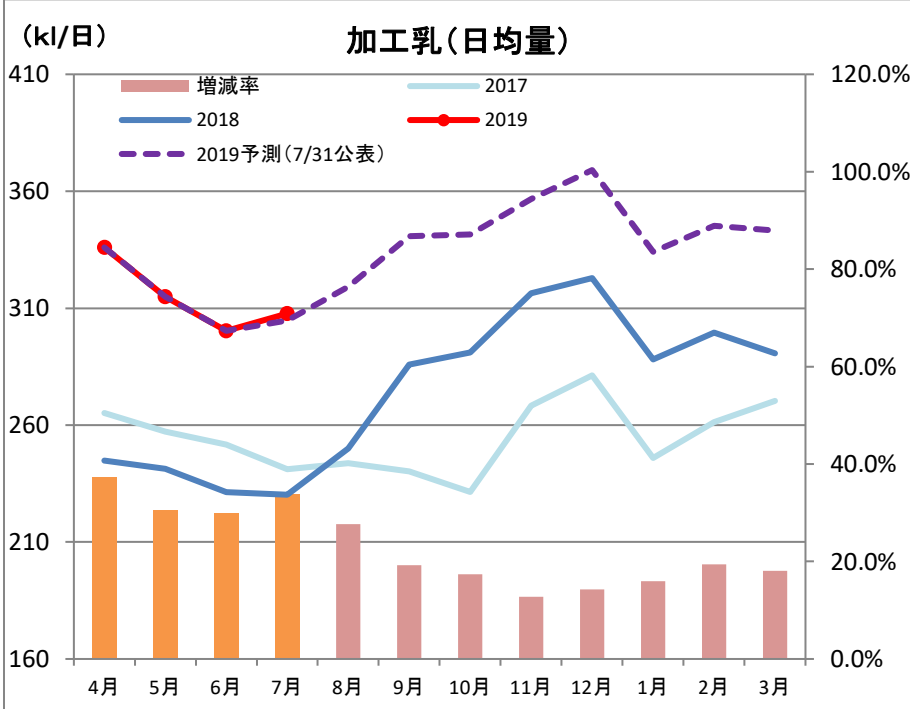
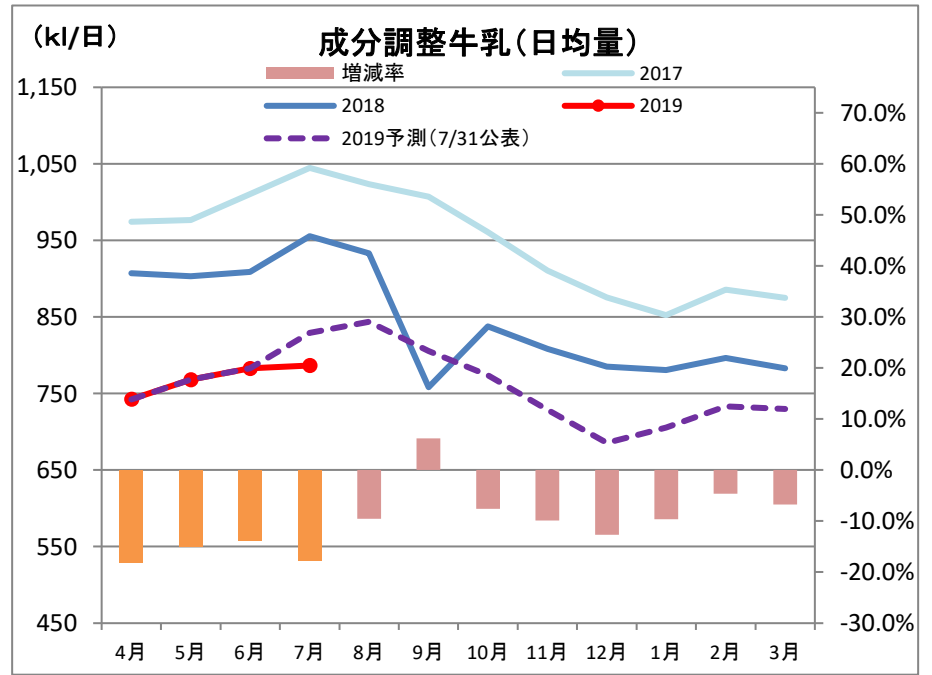
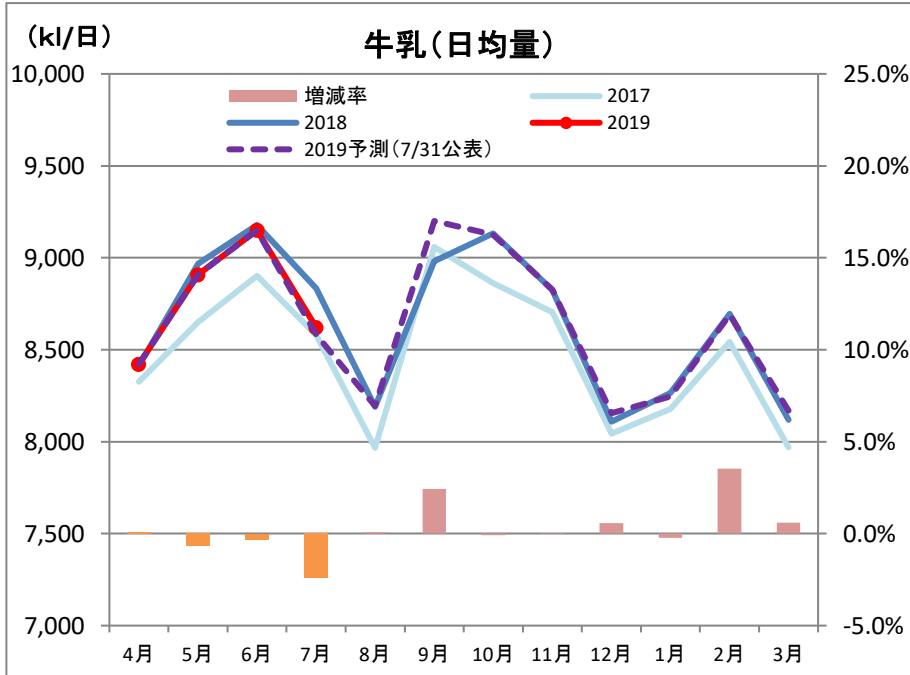
【牛乳等生産量】

(1) 7月の牛乳等生産量は、牛乳267千kl(前年同月比97.6%)、成分調整牛乳24千kl(同82.3%)、加工乳10千kl(同133.7%)、乳飲料102千kl(同99.3%)となり、牛乳類で403千kl(同97.6%)となった。

(2) 梅雨寒の影響により牛乳類の販売が鈍った。特に「牛乳」について、前年対比▲2ポイント強となったのは、2014年9月以来およそ5年振り。天候による一過性のものと思われ、8月以降は気温も上がり好天に恵まれる日も多かったことから、回復基調にある模様。

(3) 一方で、7月のはっ酵乳(乳業)は86千kl(同93.6%)と前年を下回り、11ヶ月連続で前年割れ、6月の非乳業実績についても同93.5%と8ヶ月連続で前年割れとなり、ダウントレンドが続く。はっ酵乳消費の減少は、その原料となる脱脂粉乳・脱脂濃縮乳需要に影響を及ぼしている。

※はっ酵乳(非乳業)資料:(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】

(1)7月の動向

・販売個数は、牛乳:前年同月比91.7%、成分調整牛乳:同75.0%、加工乳:同176.3%、乳飲料:同91.7%。

梅雨寒の影響により各品目販売数量が落ち込んだ。天候要因による一過性のもので、8月以降は特に牛乳が好調に推移している。

・販売単価は、牛乳:192.4円、成分調整牛乳:174.7円、加工乳:191.8円、乳飲料:152.9円。

牛乳の価格が0.5円前月より上昇。7月以降も一部量販店で店頭価格転嫁が進んだものと推察される。

・当該データと牛乳乳製品統計を比較した(前年同月比ベース)場合、当該データは統計より、**牛乳▲5.3ポイント、成分調整牛乳▲7.3ポイント、乳飲料▲7.6ポイント、加工乳+42.6ポイントの乖離が生じている。このことは、当該データがドラッグストアをカバーしていないためと思われる。**

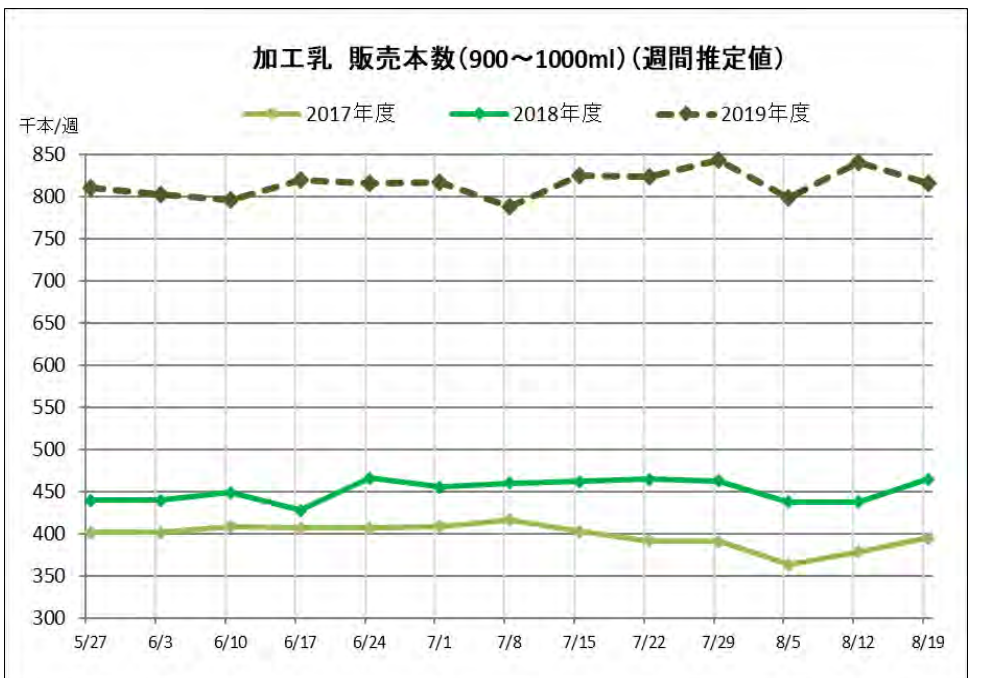
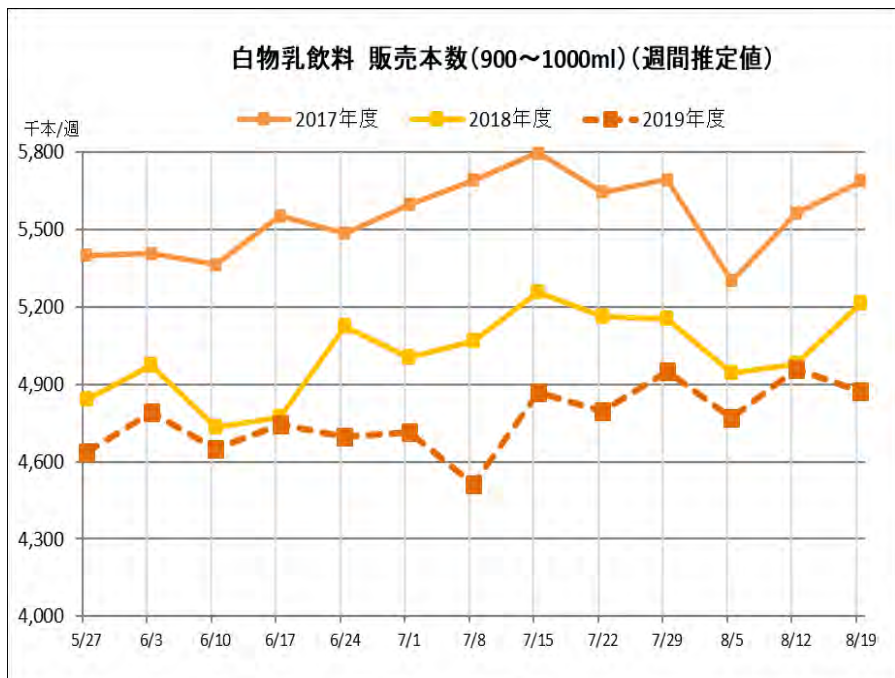
(2)8月の動向

・販売個数(週次3週合計)は、牛乳:99.5%、成分調整牛乳:71.1%、加工乳:183.0%、乳飲料:96.5%。

・※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。これらのデータ転用はご遠慮下さい。

品目	区分	2019/1-	2019/2-	2019/3-	2019/4-	2019/5-	2019/6-	2019/7-
牛乳	販売個数前年比	99.4	100.5	102.1	97.8	96.9	97.3	91.7
	販売単価	185.0	184.4	184.3	190.7	191.6	191.9	192.4
成分調整牛乳	販売個数前年比	84.9	86.3	88.9	73.1	76.9	77.8	75.0
	販売単価	171.1	170.1	170.2	172.5	174.2	174.4	174.7
加工乳	販売個数前年比	106.9	101.9	104.4	191.6	186.0	183.5	176.3
	販売単価	148.6	148.0	149.7	190.3	193.2	191.7	191.8
乳飲料	販売個数前年比	92.5	92.3	93.4	93.9	95.4	97.6	91.7
	販売単価	147.2	147.1	146.8	152.7	153.2	153.0	152.9

SRIと統計の差		2019/4-	2019/5-	2019/6-	2019/7-
SRI 牛乳類	販売個数前年比	95.4	95.7	96.5	91.1
統計 牛乳類	前年比	98.7	99.7	99.9	97.6
差(SRI-統計)		-3.3	-4.0	-3.4	-6.5
SRI 牛乳	販売個数前年比	97.8	96.9	97.3	91.7
統計 牛乳	前年比	100.2	100.3	99.6	97.0
差(SRI-統計)		-2.4	-3.4	-2.3	-5.3
SRI 成分調整牛乳	販売個数前年比	73.1	76.9	77.8	75.0
統計 成分調整牛乳	前年比	81.9	85.1	86.2	82.3
差(SRI-統計)		-8.8	-8.2	-8.4	-7.3
SRI 加工乳	販売個数前年比	191.6	186.0	183.5	176.3
統計 加工乳	前年比	137.2	130.5	129.8	133.7
差(SRI-統計)		54.4	55.5	53.7	42.6
SRI 乳飲料	販売個数前年比	93.9	95.4	97.6	91.7
統計 乳飲料	前年比	97.0	102.8	102.2	99.3
差(SRI-統計)		-3.1	-7.4	-4.6	-7.6

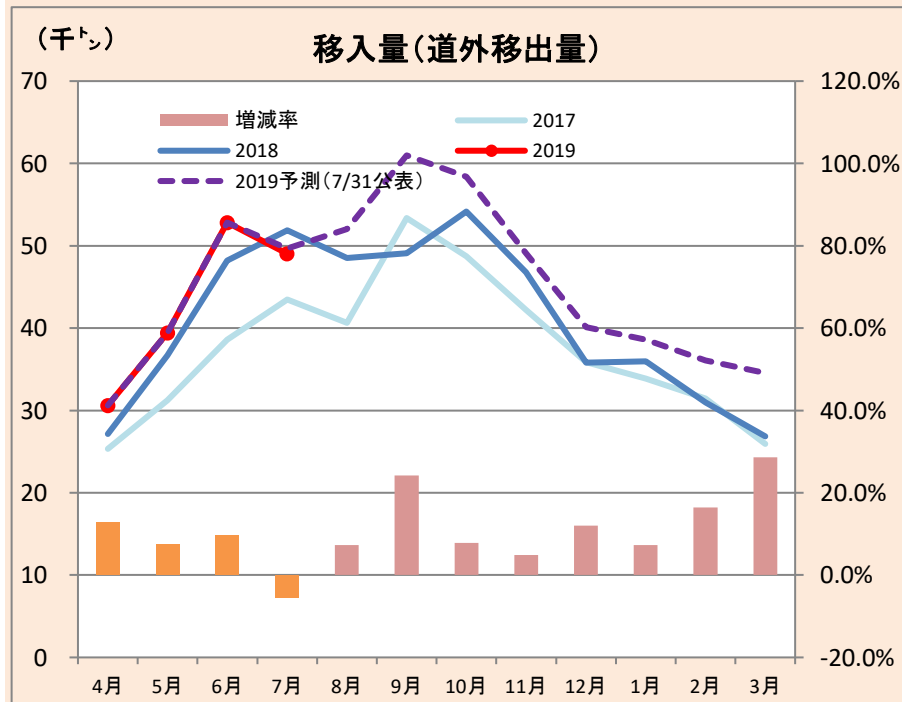
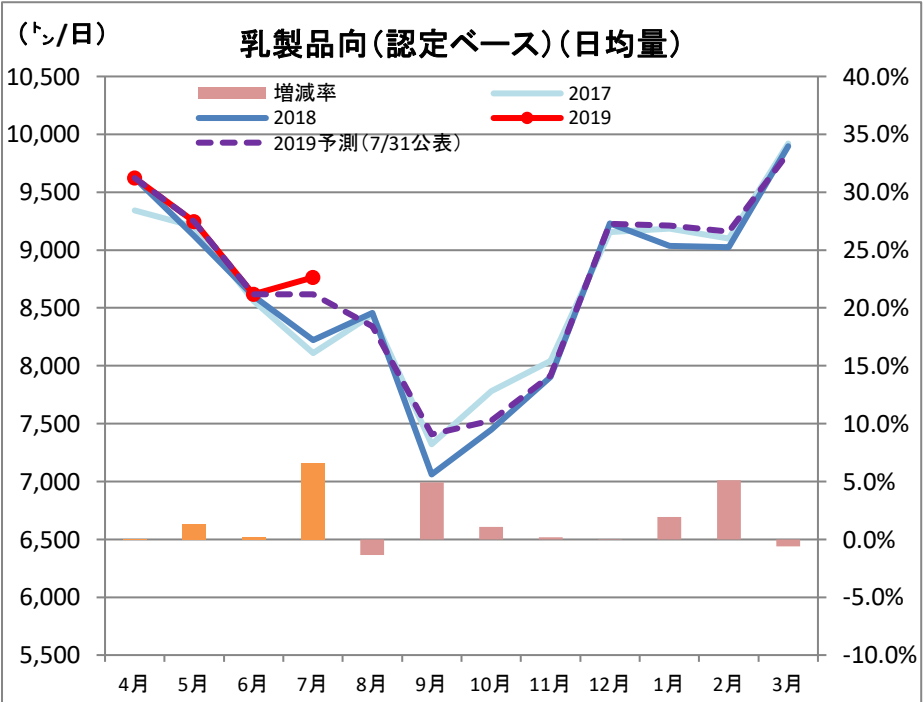
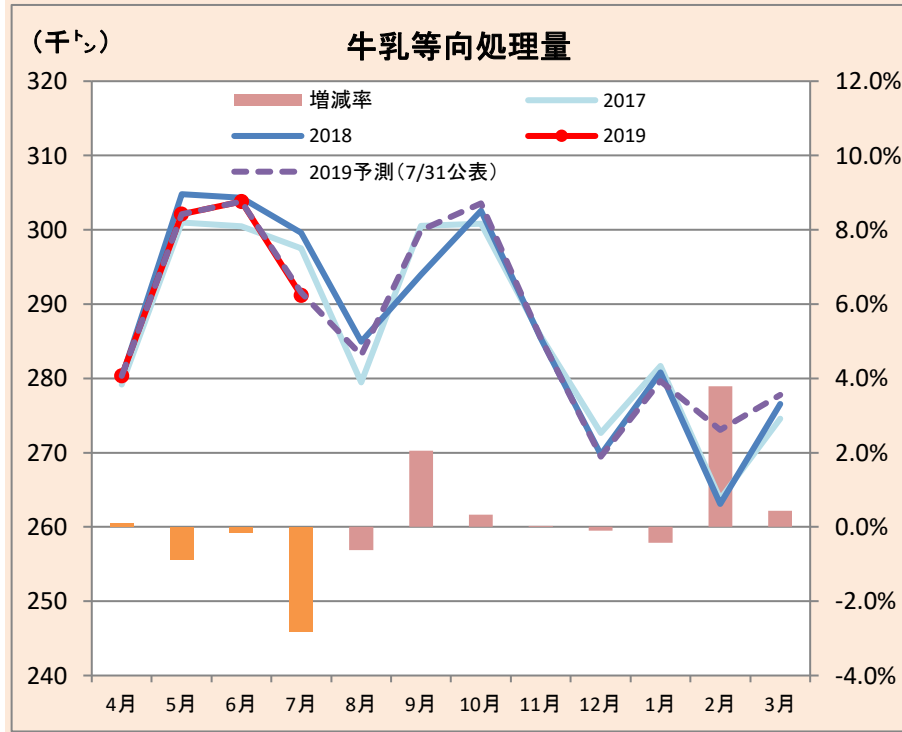
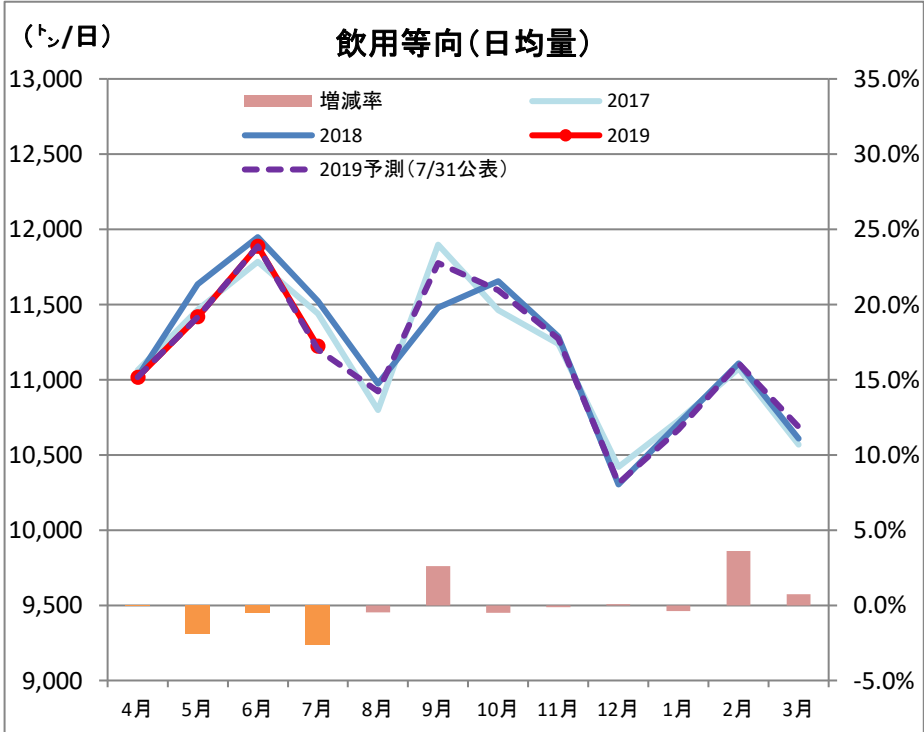
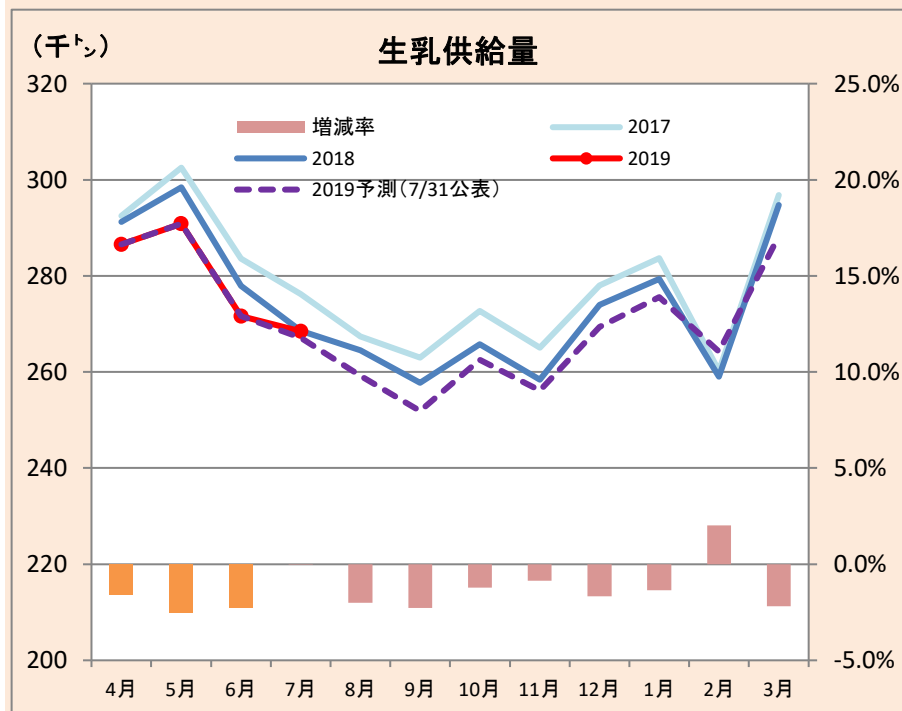
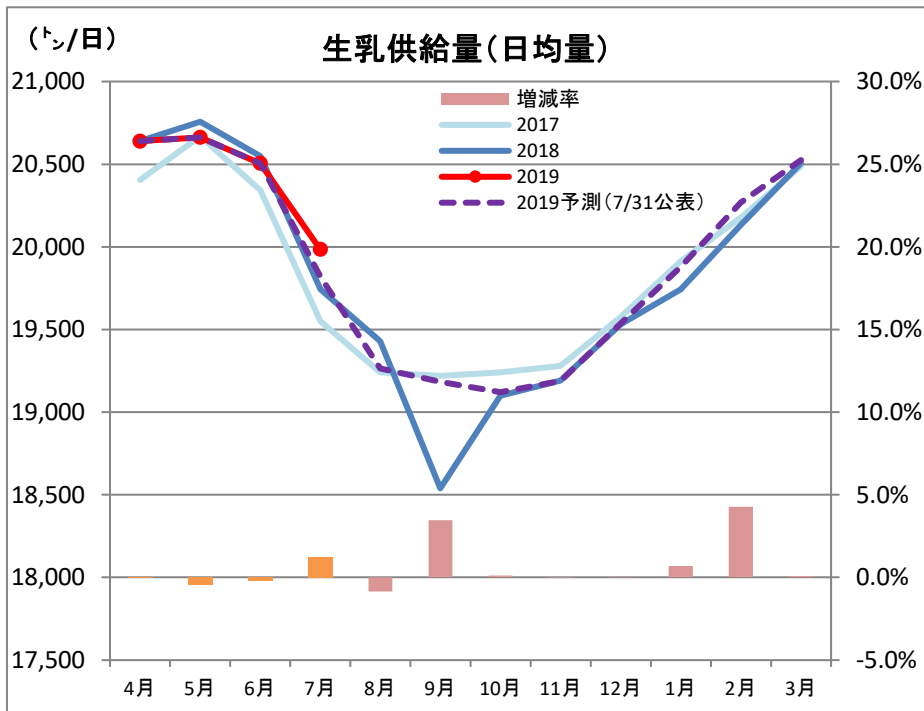


【用途別処理量】

(1)7月の生乳供給量は620千ト(前年同月比101.2%)、飲用等向348千ト(同97.4%)、乳製品向(認定ベース)272千ト(同106.6%)。
 (2)飲用等向が3ポイント弱前年割れとなり、乳製品向が前年を上回った。特に脱脂粉乳・バター等向については、同116.8%と大きく前年を上回った。

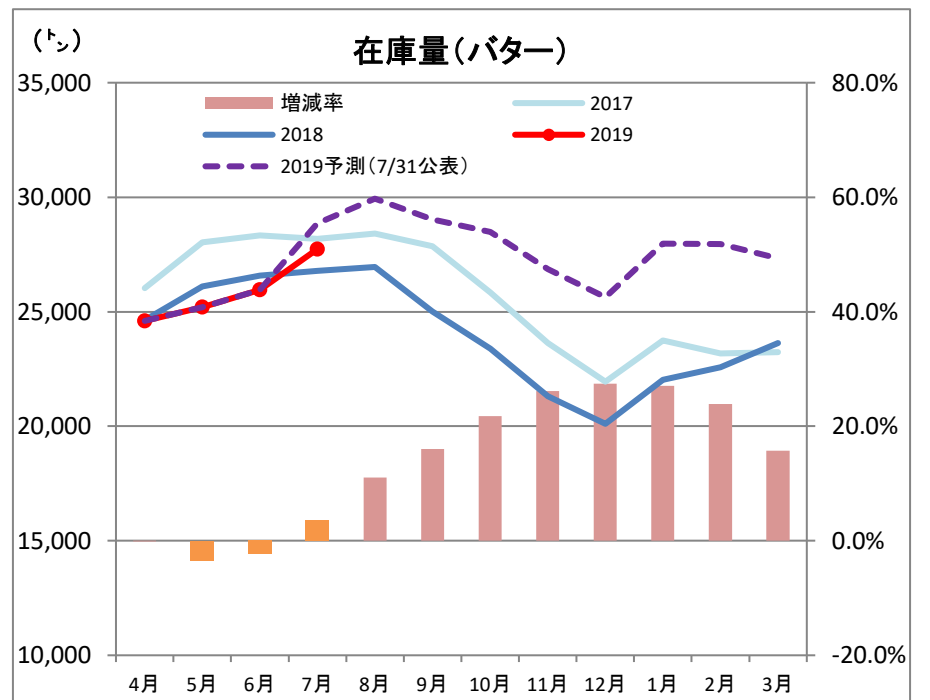
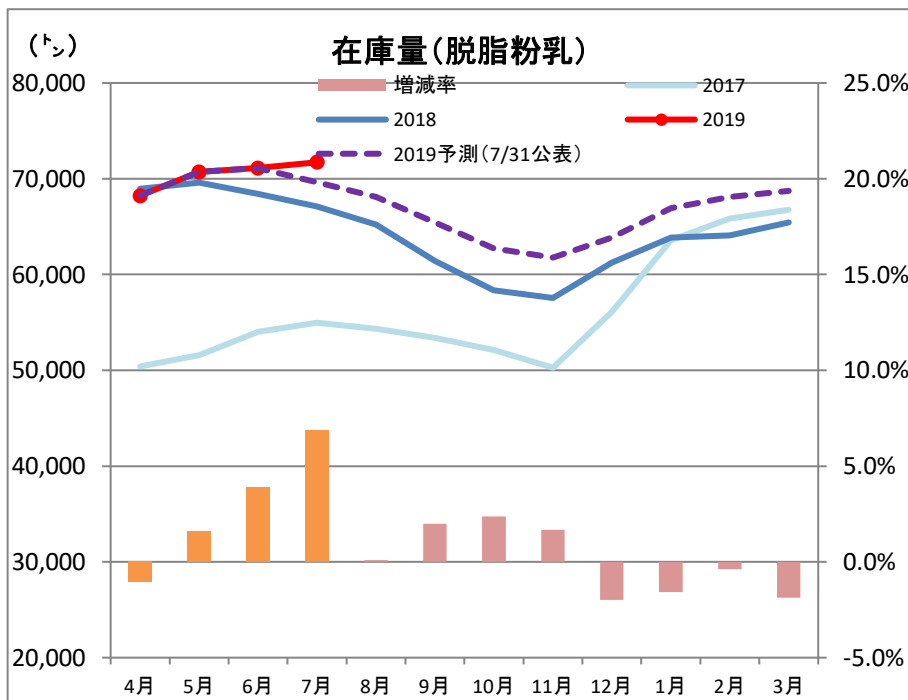
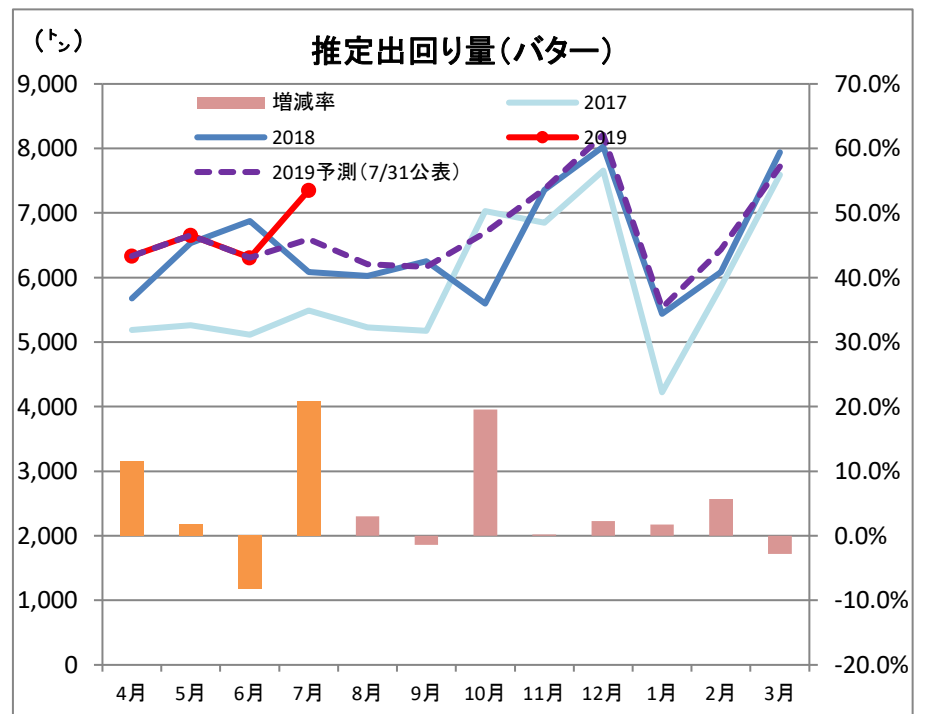
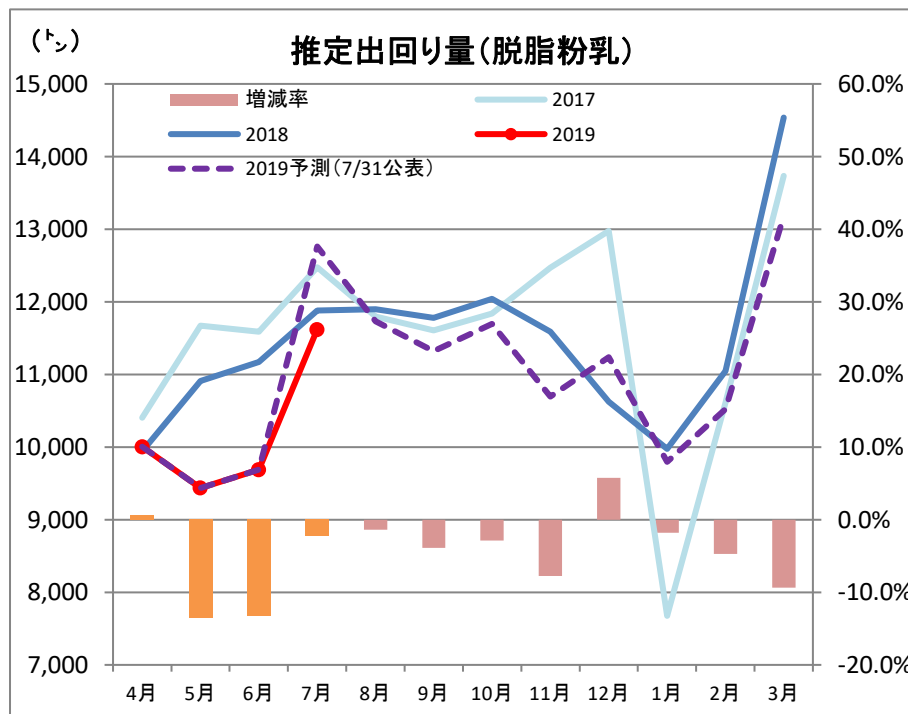
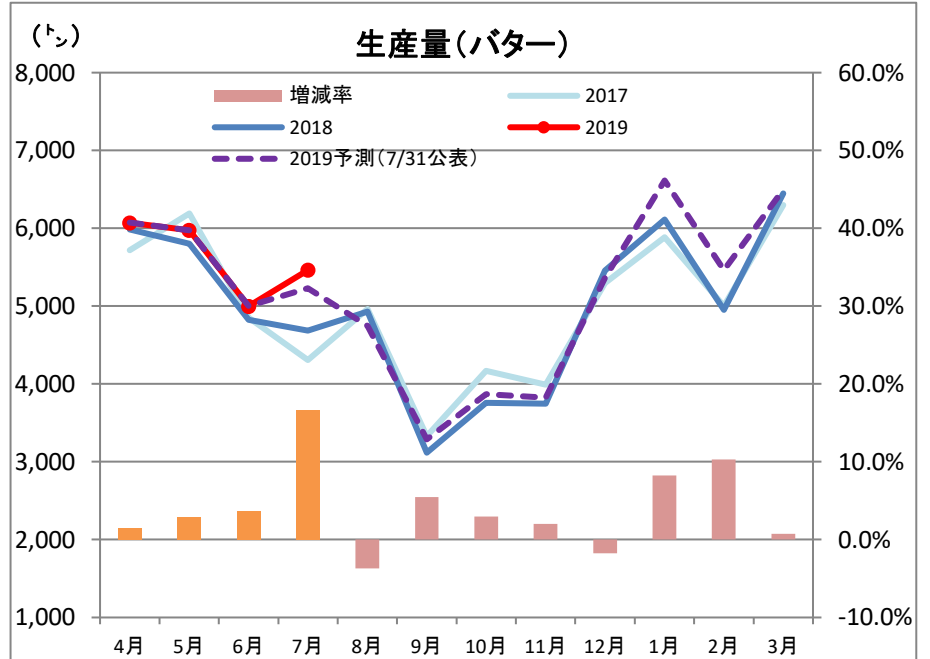
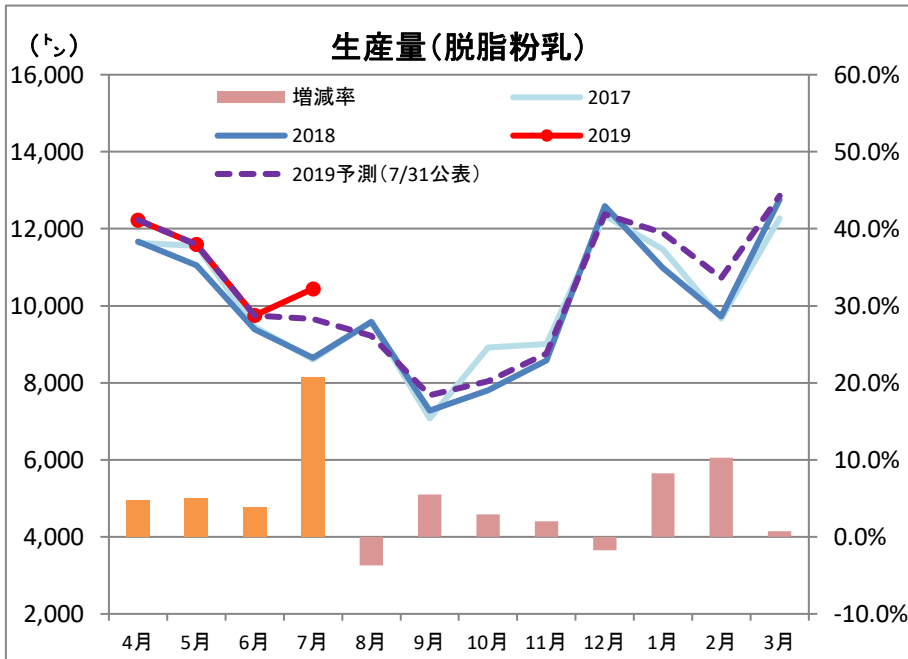
【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の生乳供給量269千ト(前年同月比100.0%)、牛乳等向291千ト(同97.2%)、北海道からの移入量について、49.0千ト(同94.5%)と前年割れしたものの、ここ10年間では2番目に高い水準。
 (2)8月の生乳供給量はJミルク7/31予測値(同98.0%)を下回る見通しであることから、移入量の引き合いは非常に強い。
 (3)9月以降も同様の傾向が続くことが想定されるが、生産は回復に向かっており、その数量見通しと牛乳需要を横にらみした、緻密な配乳調整が求められ、上・中・下旬で状況が刻々と変化する可能性がある。



【脱脂粉乳・バター需給】 ※増減率は、日均量で算出。

- (1) 脱脂粉乳は、7月の生産量は10.4千ト(前年同月比120.7%)、推定出回り量は11.6千ト(同97.8%)、その結果、在庫量は71.7千ト(同106.9%)。推定出回り量(≒需要量)は3ヶ月連続で前年割れ。在庫は昨年12月以降積み増しが続く。
- (2) バターは、7月の生産量は5.5千ト(同116.6%)、推定出回り量は7.4千ト(同120.8%)、その結果、在庫量は27.7千ト(同103.6%)。推定出回り量(≒需要量)は堅調に推移。
- (3) 脱脂粉乳・バターの生産量について、今年度に入り脱脂粉乳の製造係数が昨年より高い傾向が続く(※脱バタ向生乳仕向量が同じ量と仮定すると、昨年よりも多く生産される)。このことは脱脂濃縮乳需要が軟調であることが要因と推察される。
- (4) 8月までの機構の入札状況をみると、バターは全量落札が続く。一方、脱脂粉乳は、入札数量4千トに対し1.4千ト(4/25)、同じく4千トに対し1.4千ト(6/20)と、同じく2千トに対し1.3千ト(8/22)と全量落札には至っていない。
- (5) 昨年12月に発効した2018年度TPP11枠による脱脂粉乳・バター輸入量について、現時点では正確な数字がわからないため、上記数値には反映していない。



【乳用種からの出生頭数動向】

(1) 2019年度4月～6月の乳用種からの出生頭数(乳用種雄・雌、交雑種)をみると、前年同期比98.2%と前年を下回っている。
 (2) 北海道、都府県でみると、北海道は同100.5%と前年をやや上回っているのに対し、都府県は同93.8%と6ポイント強下回っている。
 (3) 畜種別にみると、乳用種雌牛は同100.4%と前年をやや上回っているのに対し、乳用種雄牛同94.3%、交雑種同96.9%と減少している。なお、**乳用種の雄雌割合は59.1%となり、前年同期57.6%から1.5ポイント上昇している。**
 ※家畜改良センターの速報値。

月	全国									北海道									都府県								
	合計	前年比	乳用種雄	前年比	乳用種雌	前年比	雌割合	交雑種	前年比	合計	前年比	乳用種雄	前年比	乳用種雌	前年比	雌割合	交雑種	前年比	合計	前年比	乳用種雄	前年比	乳用種雌	前年比	雌割合	交雑種	前年比
4月	50,802	100.2%	13,193	98.6%	18,857	103.1%	58.8%	16,106	97.5%	34,583	106.2%	10,696	103.6%	15,132	106.8%	58.6%	7,864	107.4%	16,219	89.4%	2,497	81.4%	3,725	90.4%	59.9%	8,242	89.7%
5月	50,843	96.6%	13,191	91.6%	19,231	99.7%	59.3%	15,589	94.6%	35,154	98.2%	10,795	93.6%	15,483	100.7%	58.9%	8,016	98.5%	15,689	93.2%	2,396	83.5%	3,748	95.5%	61.0%	7,573	90.9%
6月	55,065	97.8%	14,253	93.3%	20,576	98.8%	59.1%	17,220	98.3%	35,051	97.6%	10,786	92.3%	15,499	98.4%	59.0%	7,914	102.3%	20,014	98.2%	3,467	96.5%	5,077	100.2%	59.4%	9,306	95.2%
7月																											
8月																											
9月																											
10月																											
11月																											
12月																											
1月																											
2月																											
3月																											
合計	156,710	22.6%	40,637	22.1%	58,664	23.6%	59.1%	48,915	21.7%	104,788	25.1%	32,277	24.1%	46,114	25.6%	58.8%	23,794	25.5%	51,922	18.9%	8,360	16.7%	12,550	18.3%	60.0%	25,121	19.0%
4-6月比		98.2%		94.3%		100.4%			96.9%	4-6月比	100.5%		96.2%		101.8%			102.6%	4-6月比	93.8%		87.8%		95.7%			92.0%

【家畜販売価格動向】

(1) 8月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は771千円(前年同期比83.1%)、育成牛価格は385千円(同77.2%)、和牛素牛(去勢)価格は799千円(97.3%)、F1素牛(去勢)価格は496千円(同104.9%)。
 (2) 初妊価格は持ち合い。育成牛価格は引き続き下落し、300千円台の価格は2015年12月以来。肉用牛(和牛・F1素牛)価格は今年度に入りやや軟調に推移。乳用牛の後継牛が増加していることから、2019年度に入り初妊牛・育成牛の上場頭数(≒出回り頭数)は1割弱増加している。一方、F1素牛の上場頭数は1割強減少しており、ここ数年(F1子牛の)出生頭数が減少基調で推移していることが響いている。
 ※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

